

あなたと議会をむすぶ

議会広報

令和2年2月27日発行

第161号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-22111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～議員学習会～

町議会総務文教常任委員会が教育の現状を知ることが目的に企画。講師を阿彦正弘教育長に依頼し、少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境や、今後の小・中学校のあり方について学習しました。

※ 学習会の内容は、13ページに掲載しています。

(令和2年1月31日)

12月
定例会号

第4回定例会	2～3
議員6人が一般質問	4～9
日曜議会を開催(町民・町職員27人が傍聴)	10～11
議会活動 全国大会・視察研修、知事を囲む行政懇談会	12
議員学習会 少子化時代を見据えた小・中学校のあり方について	13
議会広報編集委員会	13
特集 ～まち再発見～ 鰺ヶ沢町に生まれ育って	14

鰺ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鰺ヶ沢町議会 検索



QRコード
こちらから

令和元年
第4回
定例会

<会 期>
12月5日～9日

会計年度任用職員制度 開始へ向け条例改正 令和2年4月1日から実施

令和元年第4回定例会が12月5日から9日までの日程で開かれました。本定例会には、条例改正・補正予算など議案12件、諮問1件、意見書案1件が上程されました。

8日の一般質問は、昨年に引き続き、平日傍聴に来られない方のために日曜議会を行い、議員6人が役場移転後の跡地利活用構想について、あじバスの運行について、空き家対策についてなど町政へ問いました。(質問内容は4～9ページに、日曜議会でいただいた感想は11ページに掲載しています。)

最終日には、本会議において審議の結果、全て原案どおり議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

▼条例の一部改正 **可決**

町報酬及び費用弁償の額並びにその支給条例の改正

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布され、特別職非常勤職員の任用要件が厳格化されることから、会計年度任用職員に移行する非常勤の職を整理するための改正。

町職員等の旅費に関する条例の改正

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律が公布され、同法により創設された会計年度



任用職員のうち短時間勤務者の費用弁償等の基準を定めるための改正。

町一般職の職員の給与に関する条例の改正

10月7日付で青森県人事委員会公表した職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、職員の給料月額並びに勤勉手当の支給割合を改正するためのもの。

【改正内容】

若年層の給料月額の引上げ(平成31年4月1日から適用)と令和元年12月期勤勉手当の支給割合を0・05月分引上げるもの。これにより、期末勤勉手当の支給率は4・3月分となります。

▼令和元年度一般会計補正予算 **可決**

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ566万6000円減額し、補正後の予算総額は7億7095万円となりました。

【主な歳入補正予算】

○減額

- ・ 保育所等整備交付金 5026万4000円
- ・ 保育所等整備負担金債 3690万円

○増額

- ・ あじがさわ未来応援基金繰入金 1648万円
- ・ 後期高齢者医療療養給付費負担金返還金(過年度分) 1130万7000円

【主な歳出補正予算】

○減額

- ・ 児童福祉総務費(保育所等整備負担金等に關するものほか) 9763万1000円

○増額

- ・ ICT教育推進費(学校で行う情報通信技術教育のためのプログラミング、教育機器更新等に関するもの)
- 1497万2000円
- ・ 畜産業振興費(アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業補助金)
- 103万3000円

📖 ひとくち解説

会計年度任用職員とは：地方公務員法及び地方自治法が改正され令和2年4月1日から始まる制度で、一会計年度(4月1日から翌年3月31日まで)内を任期として任用される非常勤の地方公務員のことをいう。自治体のこれまでの臨時的任用職員と非常勤職員の多くが会計年度任用職員に移行します。

▼令和元年度介護保険
事業特別会計補正予算

【可決】

介護保険事業特別会計は、歳入・歳出それぞれ5214万5000円増額し、補正後の予算総額は15億8773万9000円となりました。

【主な歳出補正予算】

介護サービス等諸費（令和元年10月から介護報酬改定等によるもの）
5800万円

人権擁護委員候補者の
推薦

【適任】

令和2年3月31日に任期満了となる人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任と判断しました。

▽再任

澤田 賢治 氏
浜町

【任期】法務大臣から委嘱された日から3年

▼意見書案第3号

厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書

【可決】

【内容】

地方分権時代を迎え、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっています。

しかしながら、本年実施された統一地方選挙に

において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっており、

こうした中、地方議会

議員が厚生年金に加入できるようなれば、民間会社の社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整うことになり、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考えています。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望するものです。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

故一戸千代久
議員に叙勲



故一戸千代久議員（令

和元年8月24日逝去）は、

町議会議員活動を通じ地

方自治の発展に寄与され

た永年の功績が認められ、

旭日単光章を受章されま

した。

鯨ヶ沢町議会議員一般選挙

任期満了に伴う鯨ヶ沢町議会議員一般選挙が3月10日（火）告示、15日（日）投票の日程で行われます。定数は12人となっております。

◆期日前投票・不在者投票

期間

3月11日（水）から
3月14日（土）まで

時間

午前8時30時から
午後8時まで

場所

中央公民館1階講習室

◆投票日3月15日（日）の

投票時間

午前7時から
午後7時まで

（すべての投票所が午後7時で終了となります。）

◆問い合わせ先

町選挙管理委員会事務局

☎72-2111

内線397へお問い
合わせください。

※詳しくは、町広報、防災無線等でお知らせします。

投票日は3月15日（日）

一般質問



菊谷 忠光議員

12月定例会では、6人の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し、町長の考えや町の施政方針を問います。

役場移転後の跡地利活用構想は 答へ3年以内に構想をまとめる

役場移転後の跡地利活用構想はあるのか。

問・財政が疲弊する中、将来への投資という観点から、役場移転後の跡地利活用はとても重要である。

構想はあるのか、お答え願います。

答弁・千島政策推進課長
役場移転後の跡地については、これまで町行政の中核となる地域として多くの人が交流していた場所であり、海岸エリアの一等地を空洞状態のまま放置しておくわけにはいかないと思っています。役場庁舎が移転した後



新庁舎へ移転する町役場

は、中央公民館と山村開発センターは残ることに
なり、教育文化面で人々が行き交う場所としての顔があります。また、すぐ隣には海の駅わんどがあり、観光・商業の拠点エリアとしての顔もあります。



中央公民館と山村開発センター



フェスティバル会場にもなった海の駅わんど

る可能性がある重要なエリアになるものと考えており、雇用の創出につながる何らかの設備を作れないかと考えているところです。

今年開催した、「ヒラメフェス」などの食のフェスティバルは、当町が誇る様々な食に対し、どこの地域の方が、どれくらいの消費意欲をもっている、どんな食やブランド

を求めて交流するのかわを求めています。引き続き複数年実施していく予定です。

その上で、経済の活性化と雇用創出に十分な成果が出る事業を慎重に見定めながら、また財政的負担を少なくするためにも補助金などの特定財源を活用しながら、事業を設計していくことが重要と

考えています。

この地域には、当町のブランドを発信しながら、町の豊かな農林水産物の食と、町が自慢する観光を交差させた産業を振興させる拠点施設を整備し、これに教育文化活動も融合させ、人の交流

と経済の活性化を図るエリアとして形成することを現在考えていますが、これに関する調査検討をしっかりとたうえで、出来るだけ早く跡地利活用構想をまとめ上げ、町民の皆さんの意見を聞きながら、事業を進めたいと思っています。

問・調査検討をしたうえで、できるだけ早く構想をまとめるということですが、もっと早く検討委員会を立ち上げる必要はないのか、その辺はいかがでしょうか。

答弁・千島政策推進課長
現在、検討委員会を組織するため準備を進めているところで、年度内に

検討委員会を立ち上げ、3年以内に役場跡地の利活用構想をまとめ上げたいと思っています。

意見・アンケートを実施するなどして、町民の意見を広く募り参考にし、役場跡地の利活用が、鱒ヶ沢町の地域振興につながるものであってほしい。

生産性のない箱物は、もううんざり、まっぴらごめんです。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆今後の財政運営について
町入りの地方交付税が減っていく中、今後の財政運営をどのように考えているのか。
予断を許さぬ当町の財政事情を踏まえつつ、柔軟かつ均衡ある財政運営を心掛けたい。



田中 亨議員

あじバス運行から3年、問題点は 答へ要望を聞き、サービス向上に努める

あじバス運行開始から3年近く経つが、問題点はないか

問・あじバス運行から3年近く経つが、運行及び住民の利便性など、住民サービスの問題点はないか、お答え願います。

答弁・千島政策推進課長

あじバス運行に関する様々な意見をいただいておりますが、特に多いのは、利用される方の生活にあった時刻の運行を要望するもので、バスの増便を要望する声です。

あじバスは、町内全域を、朝から夕方までまっぴんなく走るようダイヤを組んでいるので、便数は、それまで町内を走っていた路線バス以上に増

えています。ただ、財政的負担が増えることのないように、限られた運行本数としているものです。よって、更に運行本数を増やすことにつながる要望にお応えすることは難しいと考えています

が、要望に合った時刻に変更することにはできるだけだけ対応したいと思っております。

そのほかにも、あじバスに対する様々な要望はありますが、前年の2割増で利用者が増えており、徐々にではありますが、町民の皆さんにもあじバス利用が浸透してきているものと捉えています。

引き続き利用者の要望を聞きながら、サービス向上に努力したいと思っております。

問・町民からは、スクールバスと町内路線バスを分離した方がよいのではないかと意見が多い、それに対する考えは。

答弁・千島政策推進課長

あじバスを運行する前は、専用のスクールバスが運行し、当町の管内のみを走る路線バスとして、弘南バスによる、赤石方面の深谷・鬼袋・一ツ森線と中村方面の長平・松代線が運行していました。

平成29年度からこれらのバスを運行するにあたり、スクールバスについては運行委託料の増大が見込まれること、また弘南バス路線についても、町から運行経費の補助を行っており、さらに利用者の減少が懸念され、財政面での負担が増えることが課題でした。また一方、スクールバスは弘南バスが通っていないところも走っていたため、スクールバスに一般の人も

乗れないのかという声も上がっていました。これらを総合的に判断し、スクールバスと路線バスを一体化した現在のあじバス路線を編成したところでありますので、スクールバスを分離する過去の方式とすることは、経費面での増大が予想されることと、その場合の路線バス本数の減少など利用者サービスの低下も想定されるため、スクールバスを分離することとは考えていません。

意見・あじバスの契約は、今年度切れるようですが、まだまだ委託業者との契約内容についても、改善する点が多々あるように感じます。私の意見として受け止めていただきたいと思います。

※田中議員は、このほかにも次のような質問をしています。



町内を運行するあじバス



スクールバスとしても利用されているあじバス

◆過疎対策事業について
圃過疎地の課題解決のため、どのような対応策を行っているか、お伺いする。

答町全体の人口減少対策に目を向け、経済を活性化させながら雇用増大を図る事業や移住定住の対策事業を行っている。

◆空き家対策について
圃倒壊寸前の空家などについてどう対応していく考えか、お伺いする。

答町空家等対策計画に基づき、町空家対策協議会の場において、個別に協議し対応している。

◆森林環境譲与税について
圃森林環境譲与税の使用用途について、お伺いする。

答多様な用途が考えられることから、基金を創設し、適切な活用を図っていく。



鶴田 悦子議員

歩道が堆雪場に、危険ではないか 答へ対応できる限り歩道除雪を実施

歩道が堆雪場化し、危険である。堆雪場を確保できないか

近くの土地所有者から許可をとって堆雪場にされないか、質問いたします。

答弁・神建設課長

問・歩道が堆雪場化し、児童生徒や高齢者の歩行にとって、危険極まりない。

除雪事業は、冬期間の住民の交通網をしっかりと確保することや雪により道路が遮断され、地域の産業や住民の日常生活に支障が出ないようにつくることが一番の目的です。



2月に入りまとまった雪となった町内のようす

質問のありました、歩道に雪が堆積している件については、児童生徒の通学路をメインに歩道除雪を実施しており、現在の除雪体制では、全歩道の除雪はできない状態です。



町内歩道のようす

堆雪場所に溜まった雪で歩行者や車両に危険が及ばないように、速やかに排雪し対応してまいります。意見・舞戸町内においても、歩いている人は高齢者ばかりです。どうぞ、手を抜かないで細やかな対応をお願いします。

しかしながら、凍結している車道を歩行するのは大変危険ですので、歩行者の安全確保のため、今後も対応できる限り歩道除雪を実施します。また、雪の堆積場所については、各除雪業者が車道除雪に必要な土地を選定し、地権者から借りて、車道除雪のための堆雪場所としています。

の場の創出について、一生懸命取り組むと町長は述べていますが、その後の状況についてお話し願います。

答弁・千島政策推進課長

人口減少を防ぐための雇用ということでお話ししたいと思います。

人口減少が続く中、活力ある地域づくりのためには、女性が様々な分野で活躍することが重要であると考えています。

町では、これまでの創業支援事業により、町内に新たな店舗、事業所が開設されており、その店舗にはもちろん女性も働いていますし、女性が経営している店も何件かあります。

そういった意味では女性の働く場の創出につながっているものと思っています。

引き続き、創業支援事業を進めながら、県の女性プロジェクト事業とも連携し、町の女性の方々が活躍できる場の創出に

努めます。

意見・町長が雇用の創出を、町の重要課題として取り組んでいるのがわかりました。

今後はさらに、県や中央省庁に働きかけるなどして、雇用の場を創出していただきたいと思います。

※創業支援事業補助金とは：

町内において創業する方に対する、店舗の増築や改修に要する経費などの創業資金（対象経費の2分の1以内の額又は100万円のいずれか低い額以内）を補助するもの。

◆創業支援事業補助金について詳しくは

町役場観光商工課
☎72-2111へ
お問い合わせください。



佐藤 薫議員

ふるさと納税を地域振興のための有効な財源に

問・当町のふるさと納税は、件数・金額ともにすばらしい数字、実績を残していますが、法改正により本年6月から、ふるさと納税に係る指定制度が創設されたと聞いています。

新制度の概要と今年度の状況について、お聞かせください。

答弁・櫻井観光工商課長
 地方税法の一部改正があり、ふるさと納税に關しまして、3つの基準が設けられました。

1つ目が、ふるさと納税の募集を適正に実施すること。2つ目が、返礼品の返礼割合を3割以下

ふるさと納税を活用した地域振興を
 答へ協力事業者の発掘などに努める

とする。3つ目が、返礼品は地場産品とすることとされ、この3つの基準に適合する自治体を総務大臣がふるさと納税

金額的には5000万円の減、寄附件数は昨年の半分ほどになると見込んでいます。

の対象として指定するものです。もちろん当町でも国に申請をしまして、本年6月1日から指定を受けています。

また、今年度の状況については、寄附総額を2億5000万円、件数を2万件と見込んでおり、

問・今年度のふるさと納税額等の落ち込みは、国の制度改正の影響を受けたものであり、やむを得ない事情があると思いますが、今後の対策等について、お知らせください。

答弁・櫻井観光工商課長
 ふるさと納税の募集に係る経費を、受領した寄附額総額の2分の1以内にしなさいということ

で、積極的なPRができませんになりました。

そのような現状にあっても今後は、ふるさと納税のウェブサイトの多面展開により町のサイトを増やして、ふるさと納税の獲得に努めることと、返礼品のラインナップの充実を図るため、町内の協力事業者の発掘に努めたいと思っています。



ふるさと納税返礼品（地場産品）の一例

意見・このふるさと納税、まちづくりに大いに寄与するとともに、地域振興の有効な財源でもあります。今後の対策をしっかりと、頑張りたいと、要望いたします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆持続可能なまちづくりについて

問人口減少、少子高齢化が加速する中、持続可能なまちづくりについて、町長の考えを伺う。

答当町が持続的に活力をもって発展していくためには、産業の活性化が最も重要であると考えている。特に、地域経済の活性化というところで現在、これまでの政策、施策を評価、検証中であり、次期「鱒ヶ沢町総合計画」と「まち・ひと・しごと創生 鱒ヶ沢町総合戦略」の策定作業を進めている。

◆コミュニティ・スクールについて

問コミュニティ・スクールは、地域と共にある学校を目指すものであるが、早期の導入に向けての取り組みについて伺う。

答当町の場合は、2つの小学校と1つの中学校を合わせて1つの学校運営協議会を置き、令和2年度の開始を目指し、現在作業を進めているところです。



町学校運営協議会設立準備委員会のようす

し、先進地に赴いて研修を行うなどして、鱒ヶ沢町にふさわしいコミュニティ・スクールの体制づくりや取り組みなどについて協議、検討している。



須藤 一議員

空き家等の現状を踏まえた対策を

空き家実態把握のための調査を 答へ調査後5年が経過、再調査する

答弁・佐藤総務課長
来年度4月早々から、実態把握のための再調査を実施します。

問・空き家の実態把握のための調査、開始時期や期間はどのようになっているか、質問いたします。

問・空家特措法で定める空家等の総戸数と特定空家等の戸数をお知らせください。

答弁・佐藤総務課長

空き家の実態把握のための調査については、平成27年度に実施しましたが、調査後5年が経過しましたので、来年度実施することとしています。

問・来年度5年ぶりに実施することですが、調査後5年も経過すると、現状把握ができないので、状況に応じた調査・対応をお願いしたいと思うが、見解があればお答え願います。

※「特定空家等」とは：
①倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態
②著しく衛生上有害となるおそれのある状態
③適切な管理が行われないことにより著しく景観を損なっている状態
④その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にある空家等をいう。



強風等により空き家の応急対応に追われる消防署員

問・特定空家等の除却支援補助金はあるのか、質問いたします。

答弁・佐藤総務課長
空家等除却事業費助成金として今年度から開始し、特定空家等に指定された空き家については、解体等に係る事業費について助成するものです。今年度の実績は、特定空家等に指定した空き家3件です。

問・空き家対策の問題点や今後の方向性について、お伺いします。

答弁・佐藤総務課長
空き家対策の問題点としては、持ち主や親族等と連絡が取れないため、対策を速やかに行うことが難しく、より効果的で速やかな対応をとっていきたくための方策を検討しています。また、今後の方向性については、特定空家等に指定された場合に、その

町内における空き家については、平成27年度の調査において確認した数は、全体で484件となっており、そのうち、特定空家等は3件です。

答弁・佐藤総務課長
空家等除却事業費助成金として今年度から開始し、特定空家等に指定された空き家について、解体等に係る事業費について助成するものです。今年度の実績は、特定空家等に指定した空き家3件です。

問・空き家対策の問題点や今後の方向性について、お伺いします。

意見・今後町には、空き家の再調査により、所有者に適切な管理を促す体制づくりをお願いしたいと思えます。

問・空家特措法で定める空家等の総戸数と特定空家等の戸数をお知らせください。

答弁・佐藤総務課長
空家等除却事業費助成金として今年度から開始し、特定空家等に指定された空き家について、解体等に係る事業費について助成するものです。今年度の実績は、特定空家等に指定した空き家3件です。

問・空き家対策の問題点や今後の方向性について、お伺いします。

答弁・佐藤総務課長
空き家対策の問題点としては、持ち主や親族等と連絡が取れないため、対策を速やかに行うことが難しく、より効果的で速やかな対応をとっていきたくための方策を検討しています。また、今後の方向性については、特定空家等に指定された場合に、その

所有者が速やかに解体を実施できるよう、引き続き助成金による支援を進めていく考えです。

◆過疎地域等における集落対策について
圃人口減少による集落機能の低下が懸念される中、町ではどのような集落対策を考えているか。
答町全体の人口減少対策として、今後も、鱒ヶ沢町に目を向けてもらうための各種事業に取り組む。



世永 富也議員

今後のまちづくりへの想い、目標は 答へ子や孫に託すことができる町に

町長就任後の自己評価と今後の目標は

問・町長に就任して間もなく2年、振り返り点が近づいているが、これまでの自己評価と自己採点を伺いたい。

くりの基本目標を掲げ、最初に取り組んだのは、鱈ヶ沢町のプロモーション、売り込みです。

町の認知度を高めるため、町の話題や取り組みを、積極的に情報発信することを考え実行しました。



答弁・平田町長

この2年を振り返り、自分なりに総括しますと、まず、目指すまちづ

くりの基本目標を掲げ、最初に取り組んだのは、鱈ヶ沢町のプロモーション、売り込みです。町の認知度を高めるため、町の話題や取り組みを、積極的に情報発信することを考え実行しました。昨年10月には、大浦光信公のつながりを生かして、岩手県久慈市と「歴史文化で結ぶ友好協定」を結びましたが、この協定締結が久慈市はもちろん、津軽家ゆかりの地である弘前市、黒石市、さらには秋田県横手市との新たな地域間交流として広がりをみせています。ほかにも、青森公立大学との地域経済の活性化を目的とした連携協定や地元鱈ヶ沢高校とのまちづくりや人材育成を目的とした連携協定など、連



携事業を進めてまいりました。

また、食のイベントとして実施した「ヒラメフェス」「肉のフェスティバル」「スイーツフェス」についても、地元産品の消費拡大につながりましたし、キャッシュレス決済の推進に取り組んだことも、インバウンド客の町内消費を促すことになりました。一方、福祉面では、多

様化、複雑化する福祉ニーズに対応するため、多機関の協働による包括的支援体制構築事業として、社会福祉協議会が中心となり、包括的に支援していくシステム体制を整備いたしました。

また、対外的には、「七里長浜港」の名称を「津軽港」に変更し、津軽地域産業振興、経済発展のための港とするための計画的整備について、弘前市長とともに県知事に要望し、一定の理解を得られたことも、今後の港の利活用に大きく寄与するものと思っております。

これら以外にも様々ありますが、今まさに、地域経済の活性化、人材育成に取り組んでいるところであり、2年という短い期間ですが、多くの資

源に恵まれた鱈ヶ沢町を内外にしっかり情報発信、アピールできたと思っております。

自己採点については、あくまで個人のことでありますので、点数ではなく自分としては、合格点としたいと思っております。

問・自己採点については、あまり納得しませんが、今後のまちづくりへの想い、目標を示していただきたいと思います。

答弁・平田町長

私が目指しているのは、我々の子や孫にしっかりと託すことができる鱈ヶ沢町です。

そのためには、持続可能な鱈ヶ沢町をつくるべく、また、町民の皆さんが安心して暮らせるよう、地域経済がしっかり維持されていくこと、町民生活に身近な医療、介護、福祉、子育て、生活環境がしっかりと整っていることも大切に

整っていることも大切に

ですが、さらにまた、鱈ヶ沢町を支えていく人材育成にも力を入れていきたいと思っております。

今後も一歩一歩確実に着実に真摯に鱈ヶ沢町のために頑張ります。

意見・職員にも、将来のまちづくりへの想いや構想を、町長などに伝える機会を与え、持続可能なまちづくりを進めていただきたいと思います。

※世永議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆日本館拠点館について
圓3階のホール、5階の会議室は使わないのか。

答 当面は1、2階の施設の有効活用を努める。

◆人口調査について
圓町の30歳代人口の減少の理由を分析しているか。

答 調査、分析が十分でないので、分析のための時間をいただきたい。

昨年引き続き日曜議会を開催27人が傍聴



日曜議会（一般質問）のようす

町議会では、議会改革の一環として、平日議会傍聴に來られない方のために、昨年引き続き日曜議会を開催し、議員6人が一般質問を行いました。（質問内容は4、9ページに掲載しています。）
 今後も、開かれた議会を目指し、議会改革特別委員会で開催等を検討していく予定としています。

日曜議会の傍聴者にアンケートを実施しました。その結果と内容を抜粋してお知らせします。

アンケートでいただいたご意見・感想は、今後の議会運営及び議会改革の推進にあたり参考とさせていただきます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

日曜議会 傍聴アンケート結果

▼アンケートは、傍聴者27人中20人の方から回答いただきました▼

- 性別 男性 19人 女性 1人
- 年代 ~20歳代 0人 30~40歳代 9人 50~60歳代 7人 70歳代~ 4人
- 地区名 鯉ヶ沢地区 8人 舞戸地区 5人 赤石地区 3人 中村地区 1人
鳴沢地区 2人 町外 1人
- 傍聴回数 初めて 6人 年に2回 3人 年に3回 2人 毎回 4人
年に2~3回 2人 年に5回 1人 年に数回 1人 来れる時は毎回 1人
- 傍聴理由 休日で時間があつた 2人 一般質問の内容に興味があつた 11人
知人に誘われた 3人 議会を一度見たかつた 3人 その他（無回答） 1人
- 日曜議会の開催をどのように知つたか
議会広報 8人 防災無線 6人 町ホームページ 1人 議員から 2人
その他（無回答） 3人
- 日曜議会を傍聴して
満足した 4人 やや満足 7人 普通 6人 やや不満 なし
大いに不満 1人 その他（無回答） 2人

日曜議会について傍聴者の感想



現議員の資質向上のため（質問の仕方等）ネット中継も実施してほしい。

初めての議会傍聴です。議会広報はよく見えますが、一度は広報に見えない「生」の議会の傍聴してみたい思いを以前から持っていました。

感想は今一度家にもちかえり、考えてみたいと思う。演壇にいちいち立たない、スムーズな流れだったかな。

活気があって良かったです。続けてください。

今後も継続、実施してほしい。

同一質問が多く感じる。

CO₂（温暖化）対策に間接的につながる議案（森林保全）が一部ありましたが、国政のみならず市町村においても今後ともそういった議題が重要になりますので、増やして行ってください。

人口対策においては、増加に転じ政策に成功した自治体と比べ、それ程画期的には感じられなかった。

町内における五能線等の路線網を考えればコミュニティバスの路線網整備は重要だと思います。

町民所得の向上での人口減と税収減対策のみの議題でしたが、町民所得向上以外でも人口減対策案が見つかる事を願います。

議会の傍聴にお越しください

◇平成31年(令和元年)議会 開催状況◇

項目 区分	開催時期	本会議 日数	一般質問 した議員数	傍聴者数(全日数)	
				一般	職員
定例会	第1回 (3月議会)	4日	4人	23人	12人
	第2回 (6月議会)	3日	2人	15人	5人
	第3回 (9月議会)	4日	5人	10人	15人
	第4回 (12月議会)	3日	6人	17人	10人
臨時会	第1回 (4月25日)	1日	—	1人	0人
	第2回 (10月18日)	1日	—	0人	0人

▼2月20日(木)
開会しております。
《開会後の日程は
次のとおりです》

▽2月28日(金)
一般質問

▽3月2日(月)
総括質疑
各常任委員会
予算特別委員会

▽3月3日(火)
討論、採決、閉会

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

令和2年 第1回定例会の日程

創立70周年記念式典・議長全国大会 西北津軽郡町議会議長会視察研修に参加



11月11日から13日まで町村議会議長全国大会、西北津軽郡町議会議長会の視察研修（東京ほか）が行われ、渋谷悦男議長が参加しました。今回は、全国町村議会議長会が創立70周年を迎え、記念式典も併せて行われました。

【全国町村議会議長会 創立70周年記念式典】

11月13日、NHKホールにおいて、全国町村議会議長会創立70周年記念式典が行われ、改革先進議会議長として全国的に議会改革の気運を高めるに至った象徴的な10団体に及び永年功労者表彰として30年以上の永きにわたり地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した町村議会議員など400名余りが表彰されました。当町の坂牛淳治議員も30年以上の永年功労者として受賞されました。



記念式典で祝辞を述べる安倍内閣総理大臣

【第63回町村議会議長全国大会】

記念式典に続き、町村議会議長全国大会が開催されました。大会では、「東日本大震災等大規模自然災害からの復興及び災害対策に対する特別決議」及び「議会の機能強化及び多様な人材を確保するための環境整備に関する特別決議」が満場一致で決定されました。

大会終了後は、NHK制作局音楽・芸能チーフ・プロデューサー 井上繭子氏による「鶴瓶の家族に乾杯」涙と笑いの舞台裏」と題した講演がありました。

【県選出国会議員との懇談会】

11月12日、全国町村会館において、青森県町村議会議長会主催の県選出国会議員との懇談会が行われました。この懇談会では、町村議長がそれぞれ町村の現状等について話していました。

知事を囲む行政懇談会



あいさつをする三村申吾県知事

であると判断し、年内を目途に津軽港へと名称変更ができるよう作業を進めている。港が積極的に活用される中で港湾施設の改良や拡充等が必要になれば、鱈ヶ沢町や弘前市が代表を務める七里長浜港利用促進協議会等を通じて、具体的な内容を確認しつつ、計画や整備の面で支援していきたい」と回答しました。

11月18日、ホテルクラウンパレス青森（青森市）において、知事を囲む行政懇談会が行われ、西北津軽郡の町議会議長を代表し、渋谷悦男議長が、「青森県日本海側唯一の物流港湾である七里長浜港の津軽港への名称変更と新たな港湾整備計画の策定について」要望を行い、県側は、「港のより一層の利活用を図るためには港名変更が適切



県に対し要望を述べる渋谷議長

議員
学習会

少子化時代を見据えた 小・中学校のあり方について



学習会で説明を聞く議員

続いて、阿彦正弘教育長から、町における望ましい教育環境について、これから町が導入を目指すコミュニティ・スクール、学校運営協議会の仕組み、県内でも取り組みが少しずつ多くなっている小中一貫教育等、資料を基に説明がありました。

最後に議員が、学校統合の方向性について、小中一貫教育の教育効果について、今年4月から始まるコミュニティ・スクールの内容や取り組みに対する地域住民の意見の取り入れ方等について質問をし、阿彦教育長の回答に対し、それぞれが意見、要望等を述べていました。

学習会には議員12名、教育課職員、議会事務局職員合わせて16名が参加。まずは、小笠原忠教育課長が町内小・中学校を取り巻く状況等について、児童・生徒数の推移を学校毎の入学予定者数等グラフで示した資料を基に、解りやすく説明。

次に小・中学校における適正な学級数や複式学級が適当となる人数、通学距離・通学時間の基準などの説明をした上で、町の小・中学校の学級数・人数等と照らし合わせた課題を話しました。



議員からの質問に答える阿彦教育長

1月31日、講師を阿彦正弘教育長に依頼し、少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境や、今後の小・中学校のあり方について議員学習会を開催しました。

この学習会は、町議会総務文教常任委員会が主催し、議員全員で教育の現状を知ることを目的に企画されました。

4年の活動を終えて 議会広報編集委員会



左から菊谷忠光委員、東條一彦委員長、今勝義委員

議会広報編集委員として4年の活動が、今回の議会広報紙発行で満了となります。

町民に開かれた議会を目指し、議会傍聴に直接来られない方のためにも、広報紙を通して、町が行っていることに対する疑問等、議会で審議されたことを解りやすく、そして伝わるように編集を心掛けてきました。

特集記事も町内で活動している方を中心に取材し、そういう方々から日頃気づかない町の良い部分等改めて気づかされることも多々ありました。

議会広報紙について、まだまだ改善点は多いと思いますが、今後とも手に取り、是非ご覧ください。

4年間ありがとうございました。

△議会広報編集委員長
東條 一彦▽

特集 ～まち再発見～

鯨ヶ沢町に生まれ育って Vol.10

いろいろなことを見て学んで吸収して 鯨ヶ沢をもっと明るくしたい



舞戸町

くどう みずき
工藤 泉紀さん

鯨ヶ沢町出身。鯨ヶ沢高等学校在学中には、SBP(ソーシャル・ビジネス・プロジェクト)初代会長として活躍。卒業後、町内お菓子のたつやに勤務。ご両親と愛犬と共に舞戸町在住。

特集「まち再発見」10回目の今回は、町内お菓子のたつやに勤務されている工藤泉紀さんにお話を伺いました。聞き手は菊谷忠光広報委員です。

Q 鯨ヶ沢高等

学校SBP

(ソーシャル・

ビジネス・プロ

ジェクト)初代

会長ということ

で、在学中、S

B Pでは主にど

ういう活動をし

ていたか。

A 町内中をま

わって、地域の

人達に高校生が

自ら取材し、鯨ヶ沢への

愛を深めてそれを発信し

ていました。特に三重県

で行われた全国交流フェ

アで、活動の様子を報告

し、全国へ向け鯨ヶ沢町

のPRをしたことが思い

出に残っています。

Q 社会人になって、S

B Pの活動が活かされた

場面があれば、教えてく

ださい。

A SBP活動を通して、

人前に出ることや、接客

にも慣れることが出来て

いたお陰で、お客様には

「笑顔がいいね、また来

るね。」と声をかけても

られます。

Q 現在、お菓子のたつ

やではどういうお仕事を

されていますか。

A ケーキやお菓子の販

売をしています。町内の

皆さんにも人気のお店な

りです。

ので、とてもやりがい

があります。昨年11月2日、

3日に行われたスイーツ

フェス(海の駅わんどで

開催)でも販売を担当し

ました。

Q 鯨ヶ沢の好きなどこ

ろとその理由を教えてください。

A 緑で囲まれた自然な

ところと海がすぐ近くに

あるところです。緑や海

を見るととてもリラックス

できて、ここで育って

良かったと心から思いま

す。特に犬と散歩でよく

出かける、はまなす公園

は好きな場所です。

Q 議会議報は見たこと

がありますか。

A はい。あります。

Q 町や議会に対して思

うことがあればお知らせ

ください。

Q ひとくち解説

SBPとは：ソーシャ

ル・ビジネス・プロジェ

クトの略称で、地域の課

題をビジネスの手法を用



スイーツフェスでの販売の様子



工藤さんおすすめの洋菓子の数々

A 人がもつと集まる鯨ヶ沢にするために、活かせる長所を上手く見つけることが大事なのではないかと思います。

Q 町を元気にするためにはどうしたらいいと思いますか。また今後の夢などがあればお聞かせください。

A 若い世代の力は必要不可欠だと考えます。私はこれからいろんな場所に行って、見て、学んで、人と話して、吸収して、その学んだことを鯨ヶ沢のために発揮したいと思っています。鯨ヶ沢をもっと明るくしたいなと感じています。